

(第1号様式)

令和7年●月●日

北九州市長 様

申請者 住所 北九州市小倉北区城内●-●  
企業名 株式会社●●●●  
代表者 代表取締役 ●● ●●

北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出助成金交付申請書

令和7年度北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出助成金について、次のとおり助成金の交付を受けたいので、北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出助成金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添え、申請します。

記

1 助成金申請額 5,000,000 円

2 事業の着手及び完了の予定期日

着手 令和7年9月1日

完了 令和8年3月31日

3 添付書類

- (1) 企業概要（別紙1）
- (2) 事業計画書（別紙2）
- (3) 経費明細書（別紙3）
- (4) 役員等名簿（別紙4）
- (5) 暴力団排除に関する誓約書（別紙5）
- (6) 株主名簿〔持ち株比率のわかるもの〕
- (7) 履歴事項全部証明書〔法人登記簿謄本〕
- (8) 市税に滞納がないことの証明書
- (9) 直近2期の決算関係書類
- (10) 事業を実施する事業所の就業規則
- (11) 見積書の写し
- (12) 完成予想図・工事図面・工程表の写し
- (13) 備品カタログ等の写し
- (14) 事業実施場所の現況写真

(別紙1)

## 企業概要

企業名	株式会社●●●●●				
住所	北九州市小倉北区城内●-●				
代表者名	●● ●●				
担当者名	所属・役職：総務部 課長		氏名：●● ●●		
連絡先	電話：●●●●-●●●●		Eメール：●●●●●		
HPアドレス	●●●●				
業種	製造業				
設立	●●年●月		資本金	●●●●万円	
事業内容	●●●の製造及び販売 【取扱製品】 ●●●、●●●				
財務状況	決算期	売上高		経常利益	
	2024年3月期	●●●●千円		●●●●千円	
	2025年3月期	●●●●千円		●●●●千円	
構成		男性		女性	
	常勤役員	4人	80%	1人	20%
	正社員	170人	79%	45人	21%
	それ以外の社員(パートなど)	5人	14%	30人	86%
	合計	179人	70%	76人	30%
誓約事項	提出にあたり、以下の事項について確認し、相違ないことを誓約します。				
	誓約	項目			
	○	株式会社の場合にあつては、発行済の株式が中小企業者以外の会社により2分の1を超えて保有されていないこと。			
※誓約する場合は、各項目の誓約欄に○を記載すること。	○	当該助成金と別に国、県及びこれらの関係団体等他の助成金等を受けていない又は受ける予定がないこと。			

(別紙2)

# 事業計画書

当助成金は、市内中小企業が行う「女性が輝くリーディングカンパニー」(※)へ向けた取組に対し、費用の一部を助成するものです。

(※)「女性が輝くリーディングカンパニー」とは

女性用の施設や設備、人事制度などが充実し、女性にとって快適な就労環境であるほか、女性の経営参画や事業展開において女性の意見が尊重されるなど、女性が活躍する企業として北九州市のモデル事例となるものを想定しています。

## 1 女性の活躍推進に係る過去から現在の取組

- ・ 女性活躍に向けた取組方針を従業員へ明示
- ・ 女性活躍に向け職場の状況を把握し、課題分析及び課題解決への対応を実施
- ・ 女性のキャリアアップに向けた取組を実施
- ・ 女性活躍に向けた職場の意識改革を実施
- ・ 従業員が希望する働き方を応援する仕組みづくりを実施
- ・ 女性用設備の充実
- ・ リフレッシュスペースの導入
- ・ 子育てを応援する設備（授乳室、ベビールームなど）の導入
- ・ 女性従業員へ職場環境に対する要望のヒアリングを実施

## 2 女性活躍に関する認定・表彰等の受賞歴

### 【認定・表彰例】

- ・ えるぼし認定（令和●年度認定）、くるみん認定（令和●年度認定）
- ・ 北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰（令和●年度認定）

## 3 目的・目標等

### (1) 事業に取り組む背景、理由

※今回この事業に取り組もうと思った背景や事業を行うことが求められる理由を記載してください。

例1) 当社は従業員の7割が男性であり、女性の活躍に対する従業員の意識を向上させる必要がある。また、女性従業員の活躍を推進するため、現場のパート従業員に対して正社員登用を打診しても、正社員は勤務時間が長いことを理由に正社員登用を辞退するケースが発生している。そのため、女性従業員の活躍に対する意識改革や柔軟な働き方の実現を推進する必要がある。

例2) 当社はこれまでも老朽化した女性用トイレを改修するなど、女性にとって快適な就労環境の整備に努めてきた。女性従業員がさらに活躍する企業を目指すためには、短時間勤務制度の拡充や女性が利用する設備の充実が必要である。

## (2) 目的・目標

※今回の事業で何を指し何を実現するのか等を記載してください。また、達成しようと考えている指標（例：女性の職域拡大、時間外労働の削減等）があれば、その目標数値を記載してください。

- ① 全従業員を対象に、女性の活躍に対する意識調査を行い、現状を把握するとともに、意識改革のためのセミナーを階層別を実施し、女性の活躍推進に対する理解の向上を図る。
- ② 短時間勤務の利用条件を「3歳までの子を養育」から「小学校6年生までの子を養育」へ延長することや、フレックスタイム制を導入することで、従業員のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を実現する。
- ③ 女性従業員の人材定着を図るため、女性用トイレの数を増やし、パウダールームを整備する。
- ④ 休憩時間にしっかりとリフレッシュすることで業務効率を向上させるため、食堂の一部へカフェスペースを新設する。

### 【目標数値】

- ・女性パート従業員の正社員登用増加（令和10年3月末までに30名増）
- ・時間外労働の削減（令和10年3月末までに対令和7年度比20%減）
- ・職場環境に対する従業員満足度の向上（令和10年3月末までに従業員満足度80%を達成）

## 4 事業計画

### (1) 助成事業（令和8年3月末まで）の事業計画

※実施事業について、取組内容とその概要、実施時期、実施体制、実施規模を具体的に数字等を用いて記載してください。

- ① 意識調査の実施（令和7年10月～令和8年1月）
  - ・総務部と専門家により調査内容の決定、調査票を作成（令和7年11月）
  - ・全従業員を対象に意識調査を実施（令和7年12月）
  - ・代表者会議で役員、各部部長も立ち会い、結果の振り返りを実施（令和8年1月）
- ② ①の結果を踏まえ、意識改革に向けたセミナーの実施（全従業員を対象）（令和8年2月～令和8年3月）
  - ・管理職向けセミナー（令和8年2月）
  - ・従業員セミナー（令和8年2月）
  - ・女性キャリアデザインセミナー（令和8年3月）
- ③ 就業規則の改正（令和7年9月～令和8年3月）
  - ・専門家の助言を受け、小学校6年生までの子を養育する従業員が短時間勤務利用できるように就業規則を改正し、運用を開始。（令和7年9月～令和8年3月）
  - ・専門家に依頼し、フレックスタイム制を就業規則に追加し、運用を開始。（令和7年9月～令和8年3月）

④ 女性用トイレ・パウダールームの充実（令和7年9月～令和7年12月） ・女性用トイレを増設、パウダールームを整備	
⑤ カフェスペースの新設（令和8年1月～令和8年3月） ・シンボルツリーのある、カフェスペースを新設	
実施場所 (事業所所在地)	北九州市小倉北区城内●-●

(2) 助成事業終了後（令和8年4月から令和10年3月末まで）の事業計画

① 毎年従業員の意向調査を実施し、エンゲージメント、キャリアについての考えを確認
② 意識改革に向けたセミナーを定期的開催
③ 育児・介護と仕事の両立支援制度周知冊子を作成
④ 従業員の仕事と家庭の両立をサポートする特別休暇制度を導入
⑤ 職員一人ひとりの目標の達成に向けた、定期的な1 on 1 面談を実施

5 事業の実施により見込まれる効果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性従業員の定着率向上</li> <li>・女性従業員の活躍に対する理解の向上</li> <li>・パート従業員から正社員となる女性従業員の増加</li> <li>・女性の管理職希望者数の増加</li> <li>・多様な人材の管理職登用による、従来になかった発想に基づく付加価値の高い製品の開発</li> <li>・採用活動等における女性の活躍推進事例としての紹介</li> </ul>
---

6 人員予定（目標）

(1) 管理職

時期	管理職数(A)	女性管理職数(B)	女性管理職の割合(B)/(A)
申請時点	10人	1人	10%
令和9年3月末時点	10人	2人	20%
令和10年3月末時点	11人	3人	27%

(2) 正社員

時期	正社員数(A)	女性正社員数(B)	女性正社員の割合(B)/(A)
申請時点	215人	45人	21%
令和9年3月末時点	235人	60人	26%
令和10年3月末時点	255人	75人	29%

(別紙3)

## 経費明細書

### 1 支出

経費区分	経費の内訳	単価 (円)	数量	金額(円)
委託料	意識調査に係る専門家への委託料	●●●●	一式	●●●●
謝金	意識改革に向けたセミナーに係る講師への謝金	●●●●	●人分	●●●●
旅費	セミナーに係る講師の招聘に要する旅費	●●●●	●人分	●●●●
工事費	女性用トイレ増設、パウダールーム整備に係る工事費	●●●●	一式	●●●●
工事費	カフェスペース新設に係る工事費	●●●●	一式	●●●●
備品購入費	カフェスペースに設置する椅子	●●●●	●脚	●●●●
合計				(A) 15,000,000
助成金交付申請額: (A) × 1 / 2 (千円未満切捨て) ※500万円を超える場合は500万円を上限とする。				5,000,000

### 2 収入

項目	金額 (円)	備考
市助成金	5,000,000	
自己資金	10,000,000	
借入金	0	
その他 ( )	0	
合計	15,000,000	支出の合計(A)と同額

※必要に応じて行を追加・削除してください(経費明細書が複数枚になっても構いません)。

(別紙4)

## 役員等名簿

役職名	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日
代表取締役	( キタキュウ ハナコ ) 北九 花子	男 女	明・大・昭・平 ●●年●月●日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日
	( )	男 女	明・大・昭・平 年 月 日

上記の内容に相違ありません。

また、北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出助成金交付要綱第2条に定める要件を確認するため、他の行政機関に上記の情報を提供することに同意します。

企業名 株式会社●●●●

代表者 代表取締役 ●● ●●

令和7年●月●日

北九州市長 様

住 所 北九州市小倉北区城内●-●  
企業名 株式会社●●●●  
代表者 代表取締役 ●● ●●

### 暴力団排除に関する誓約書

北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出助成金の申請にあたり、私（役員を含む。）は下記のいずれにも該当しないことを誓約します。また、下記のいずれかに該当することが判明し助成金の交付決定を取り消された場合には、ただちに助成金を返還するとともに、交付決定の取り消しにより損害が生じてもその損害についての賠償請求は行いません。

#### 記

- 1 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号 以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）。
- 2 暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）。
- 3 次に掲げる暴力団もしくは暴力団員と密接な関係を有する者。

- ① 暴力団員が事業主または役員となっている者。
- ② 実質的に暴力団員がその運営に関与している者。
- ③ 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者。
- ④ 暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約または資材、原材料の購入契約等を締結している者。
- ⑤ 暴力団（員）に経済上の利益や便宜を供与するなど、暴力団の維持・運営に協力又は関与している者。
- ⑥ 自らの利益を得る等の目的で、暴力団（員）を利用した者。
- ⑦ 役員等が、暴力団（員）と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難されるべき関係を有している者。